



ほかにはない
アンサーを。

2021年3月期中間期 決算説明資料

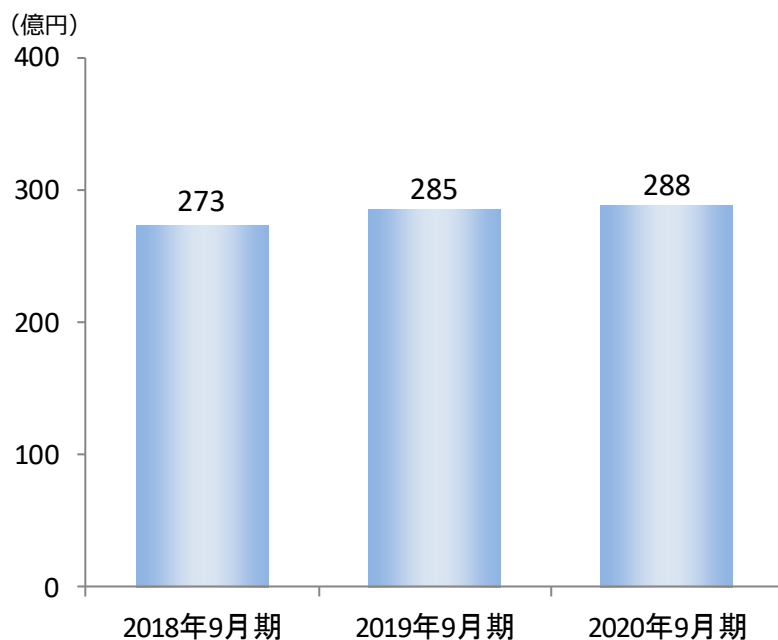
2020年11月13日
オリックス銀行

※計数は、単位未満を切り捨てのうえ、
表示しています。

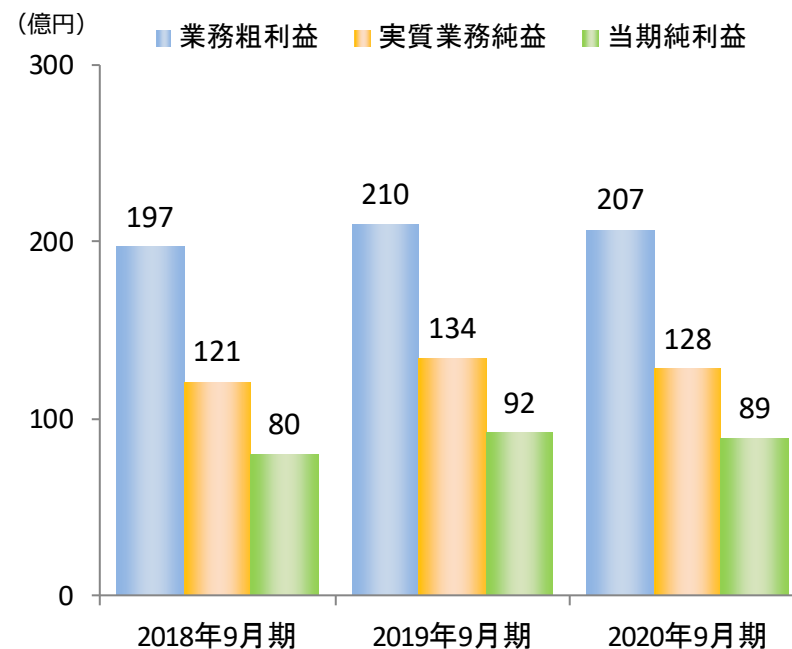
損益の状況

- 経常収益は過去最高益を更新。
- 業務粗利益は前年同期比1%減、当期純利益は前年同期比3%減の89億円を計上。

経常収益



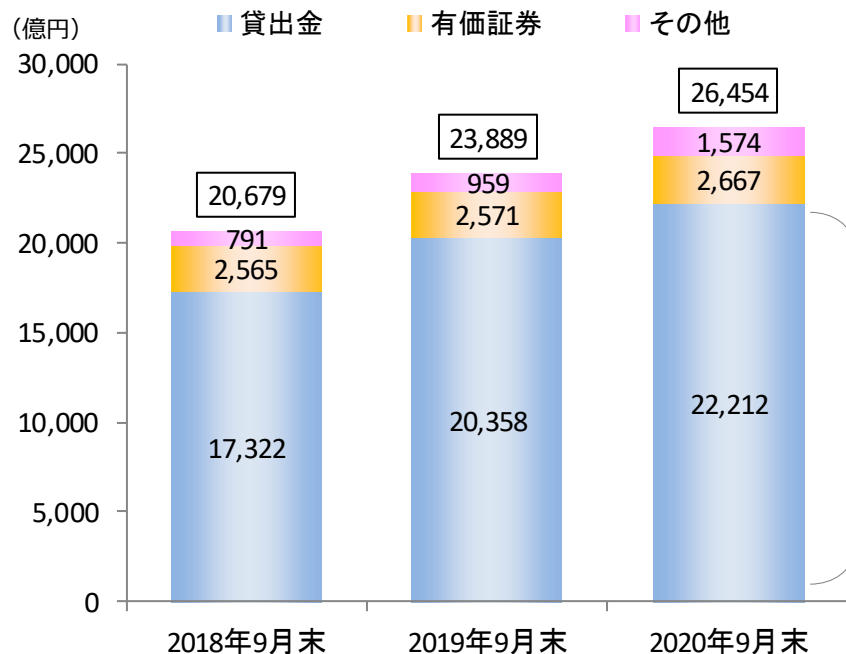
業務粗利益・実質業務純益・当期純利益



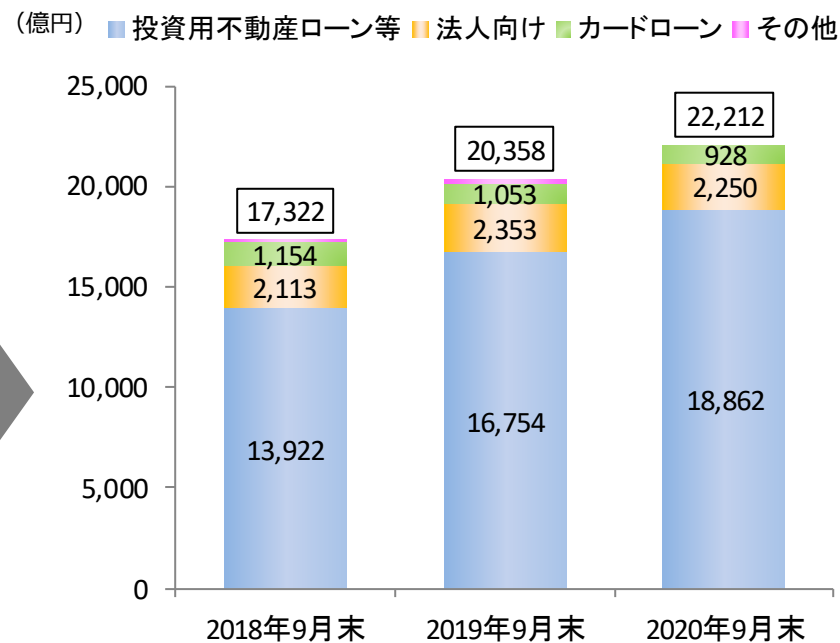
貸出金の状況

- 主力の投資用不動産ローンを中心に残高を伸ばし、貸出金は前年同期比9%の増加。
- 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、貸出金残高の積み上げは鈍化したものの、第2Q以降は回復基調。

運用資産残高

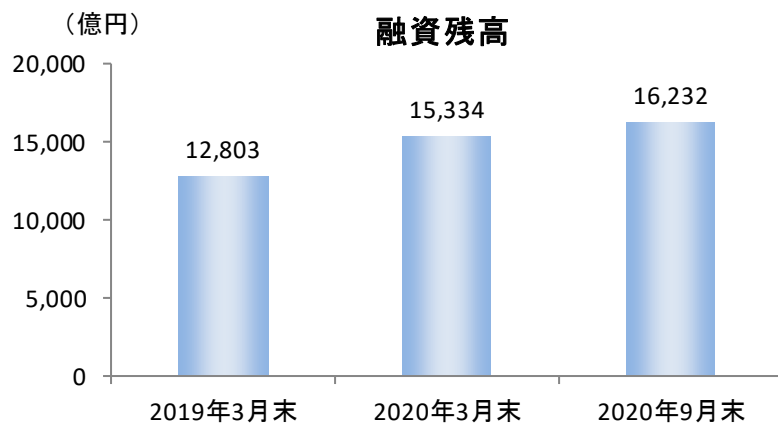
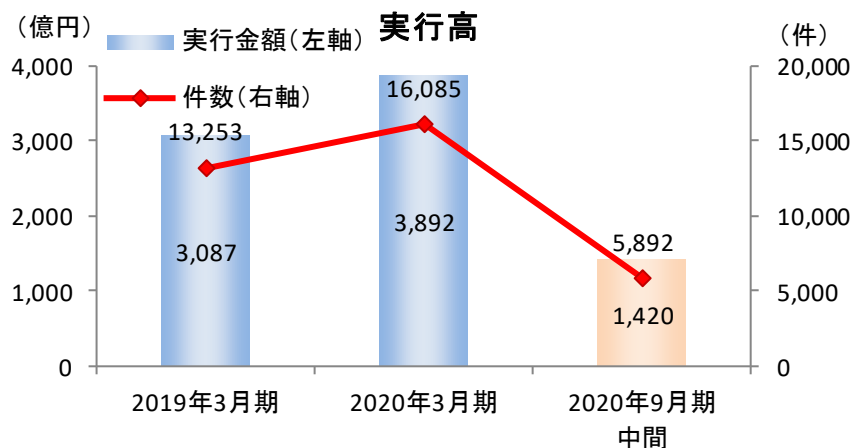


貸出金残高

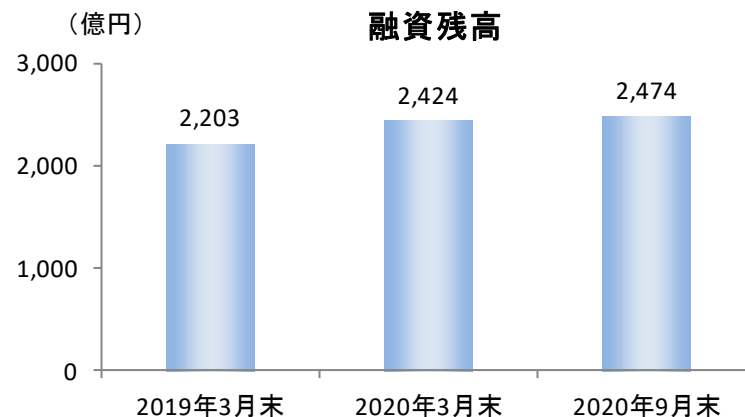
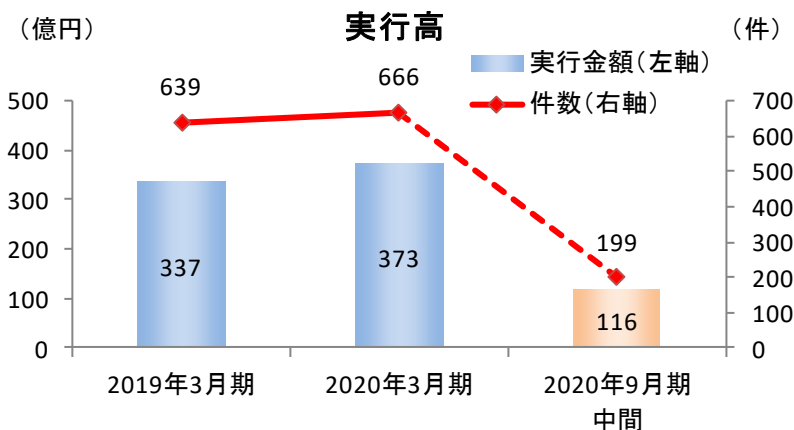


投資用不動産ローンの状況

マンションローン



アパートローン

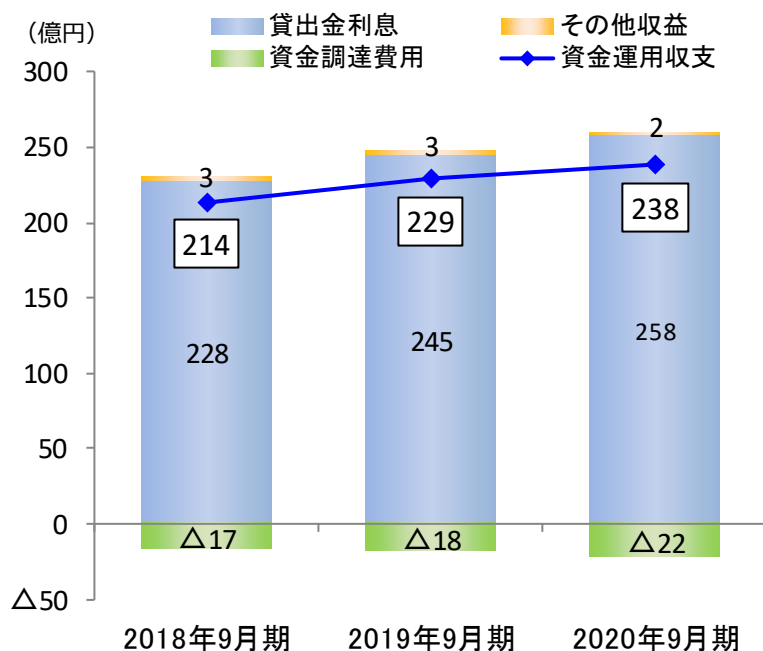


※資産管理会社は除く

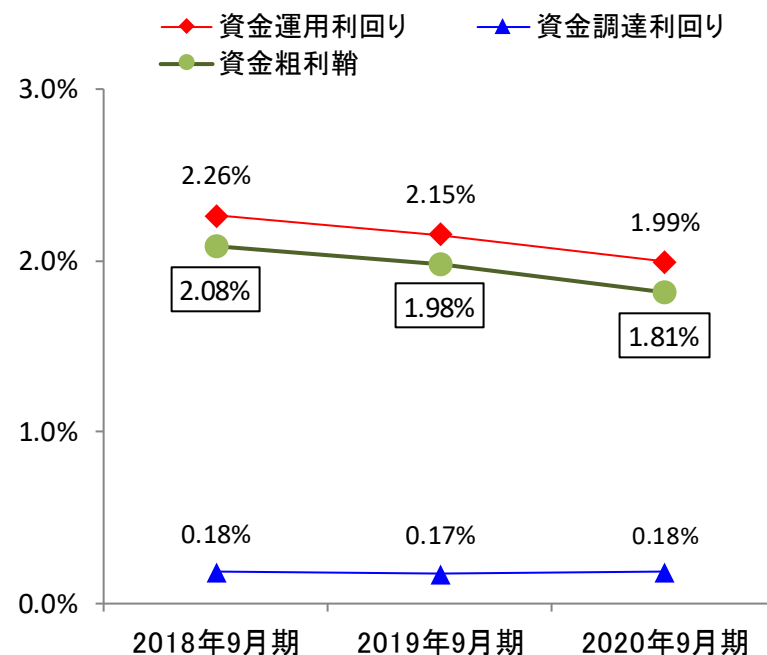
資金運用の状況

- 資金粗利鞘は前年同期比低下したものの、貸出金の堅調な増加により資金運用収支は前年同期比3%の増加。

資金運用収支



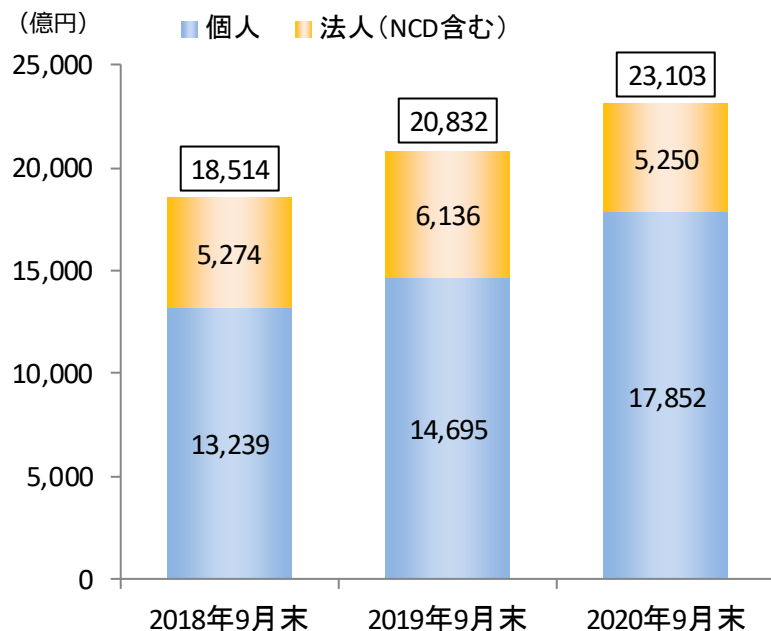
利回り・資金粗利鞘



預金の状況

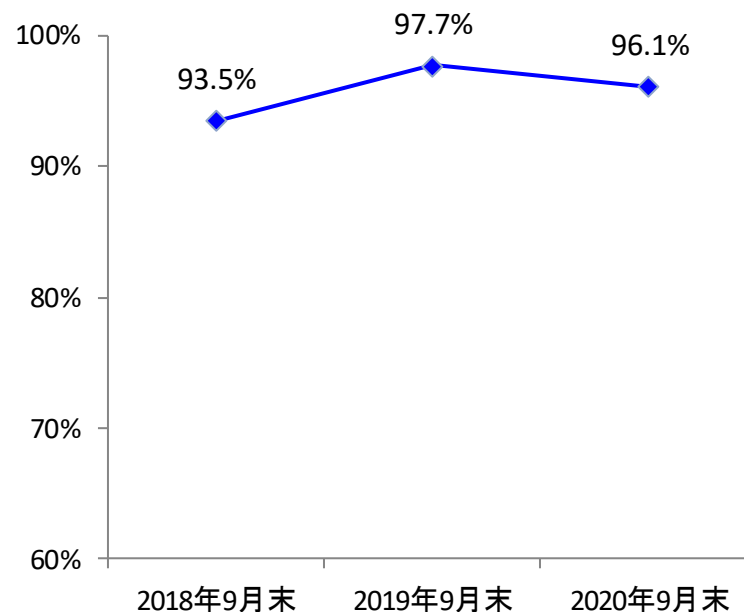
- 預金残高は、貸出金の増加に合わせて、個人預金を中心に順調に増加。
- 預貸率は、前年同期比1.6ポイント低下するものの引き続き高水準を維持。

預金残高



預貸率

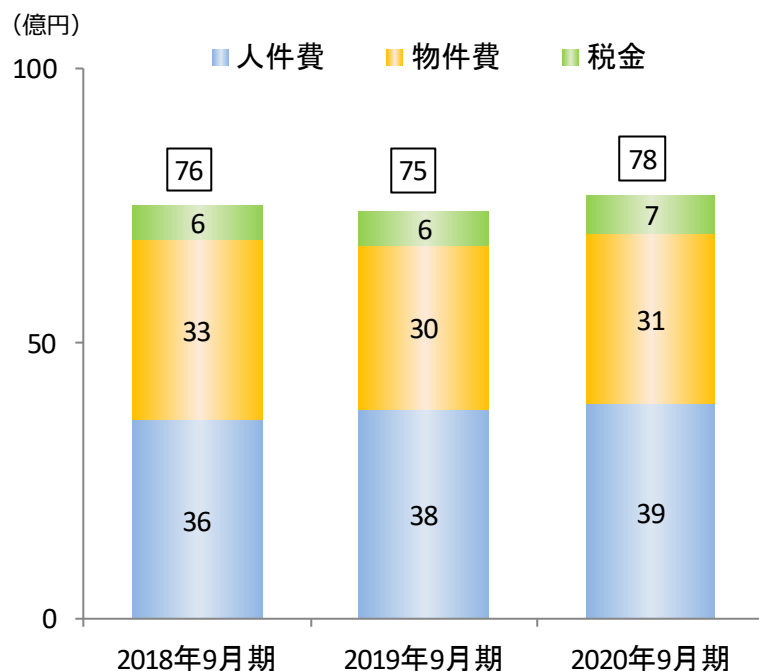
※預貸率 = 貸出金残高 ÷ 預金残高



営業経費と経費率

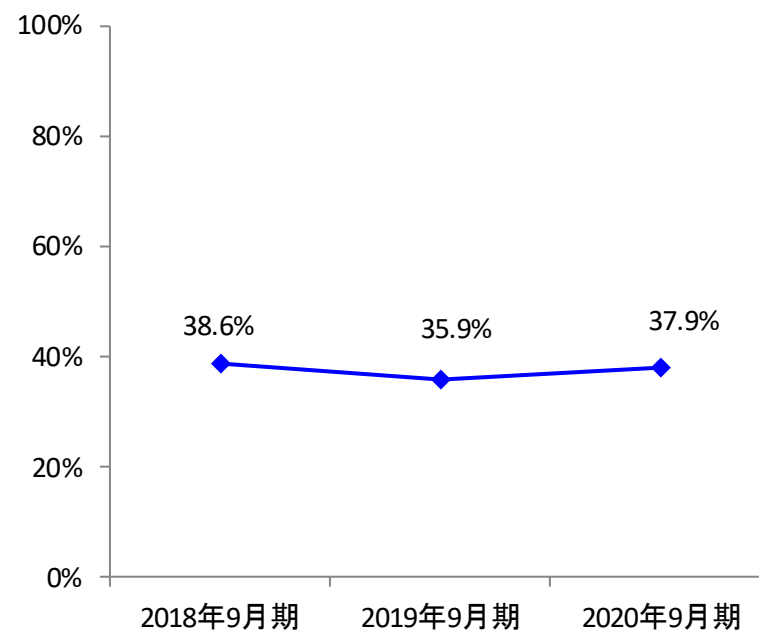
- 営業経費は、人件費、物件費等の増加により、前期比4%の増加。
- 業務粗利益が減少したことで、経費率は前期比2ポイント増加するも、依然低水準を維持。

営業経費



経費率

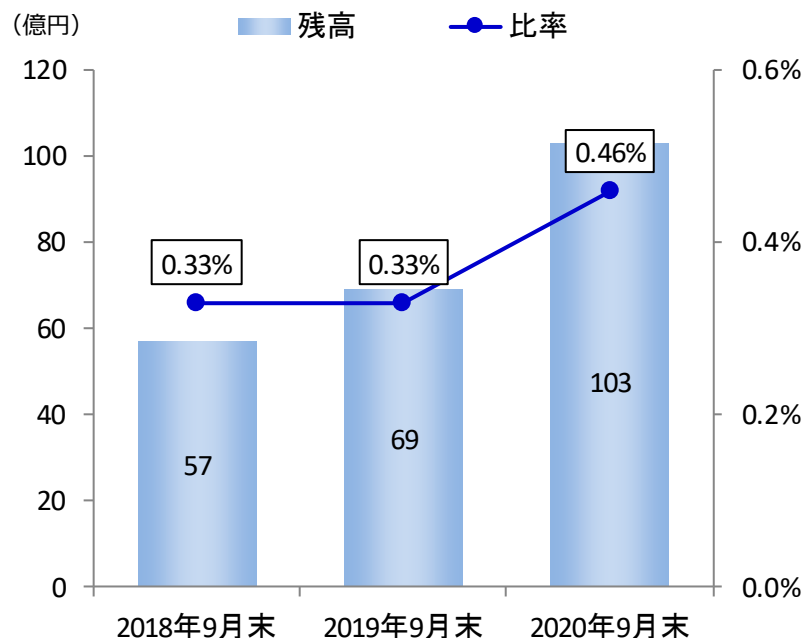
※経費率 = 営業経費 ÷ 業務粗利益



リスク管理債権(不良債権)の状況

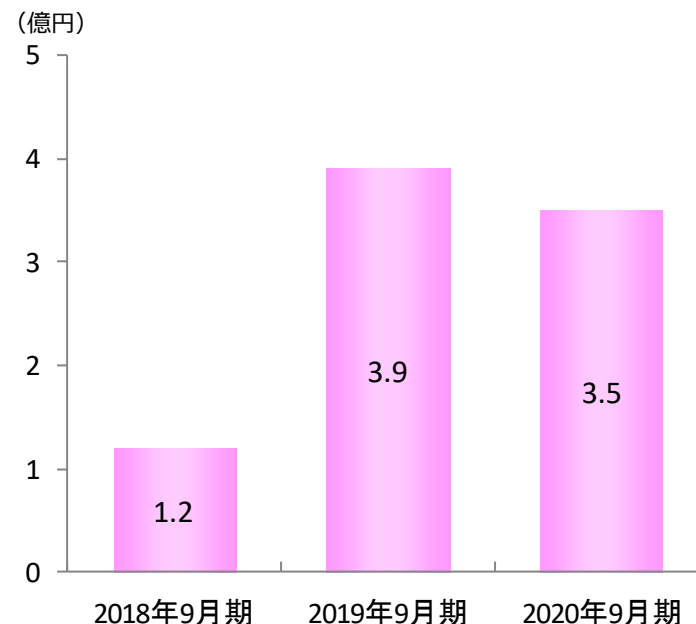
- リスク管理債権残高・同比率は、延滞債権の増加により前年同期末を上回るも、引き続き低水準で推移。
- 与信関連費用は、新型コロナウイルス感染症の影響による将来の損失に備えるため一部の3.5億円を計上。

リスク管理債権残高・同比率



与信関係費用

※償却債権取立益を含む

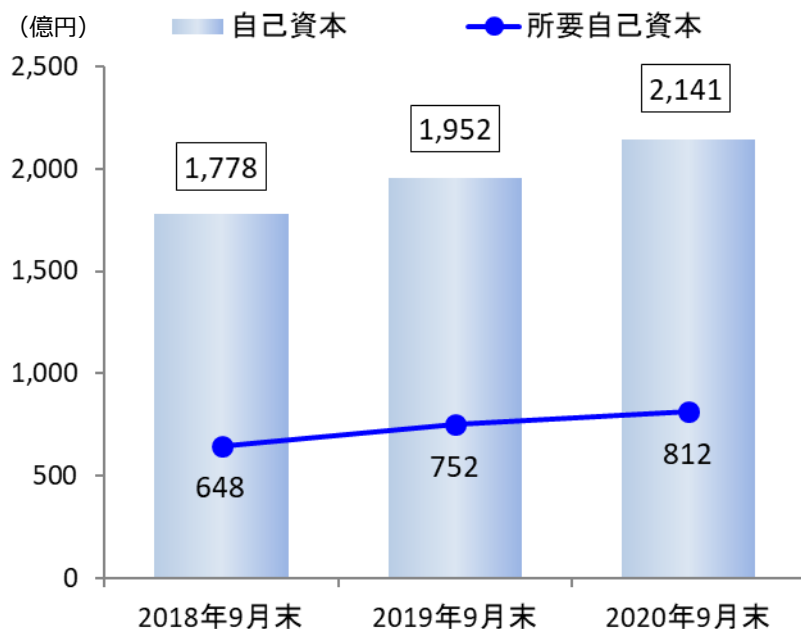


自己資本の状況

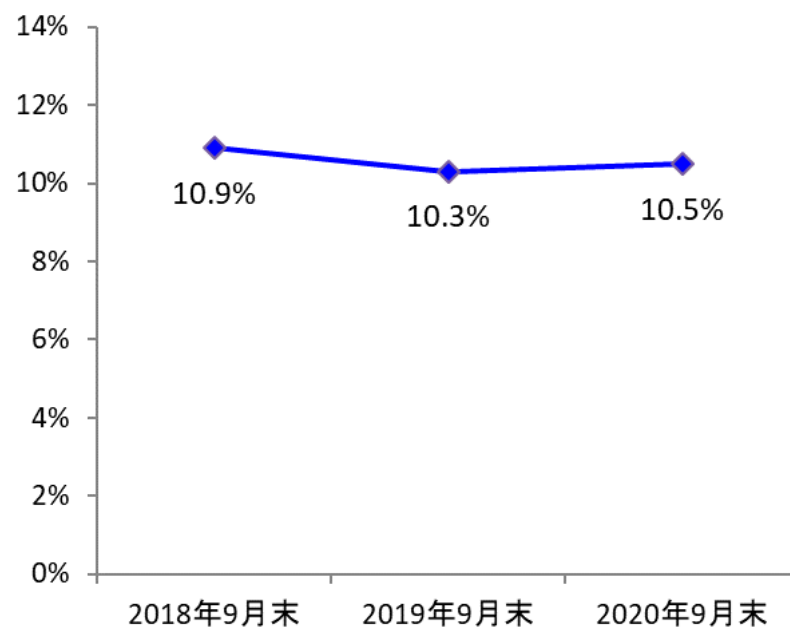
- 自己資本額は前年同期末比9%の増加。
- 自己資本比率は引き続き健全な水準を維持。

自己資本・所要自己資本

※所要自己資本は国内基準行の最低比率4%で算出

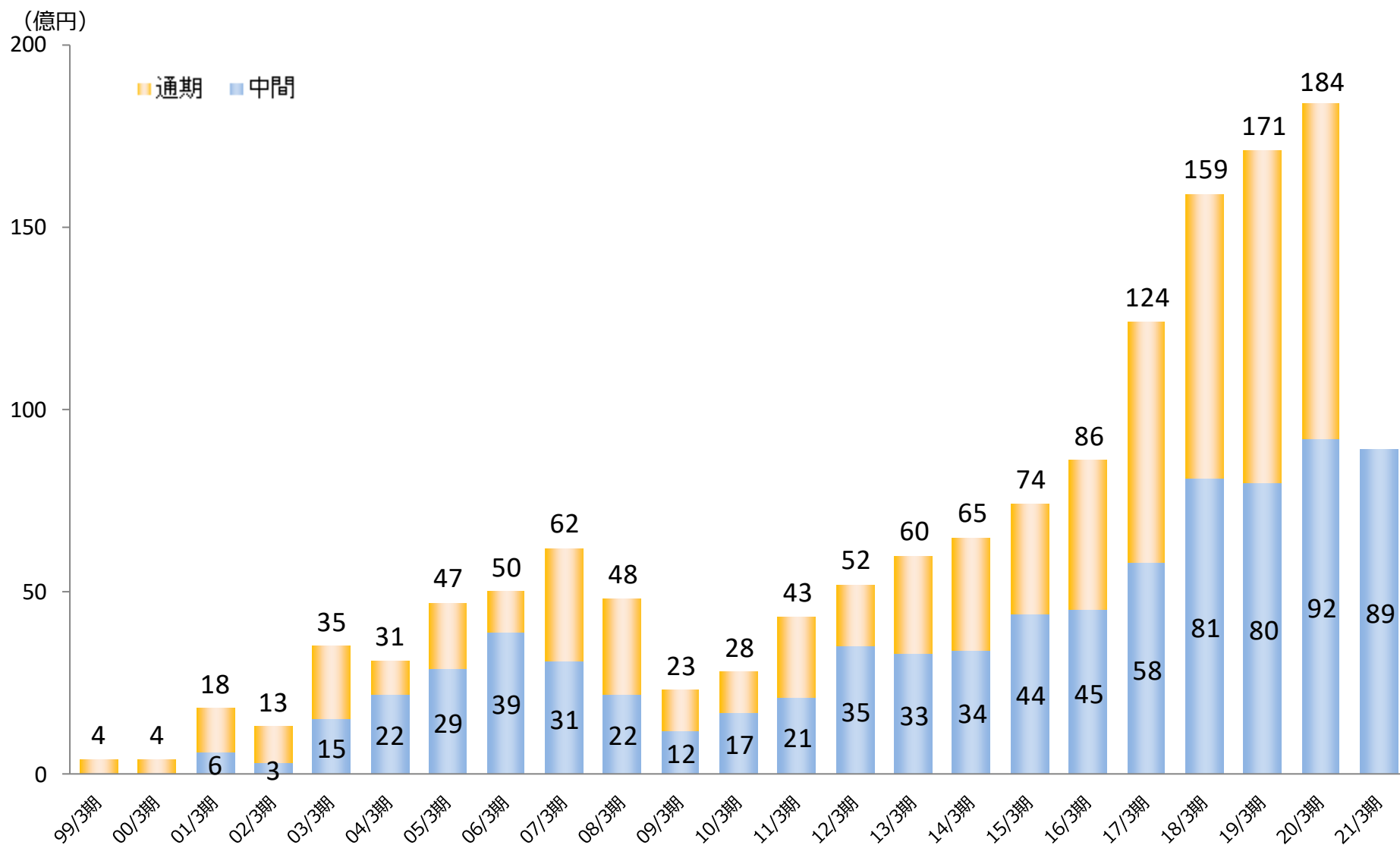


自己資本比率



補足資料

補足資料(1) 当期純利益の推移



補足資料(2) リスク管理債権(不良債権)の状況



➤ 適切な与信判断と途上管理により、リスク管理債権は低水準を維持。

リスク管理債権残高

(単位：億円)

	2018年9月末	2019年9月末	2020年9月末	前年同期末比
破綻先債権	0	2	3	0
延滞債権	56	66	100	34
3カ月以上延滞債権	-	-	-	0
貸出条件緩和債権	0	0	0	△ 0
合計	57	69	103	34

金融再生法ベース開示債権残高

(単位：億円)

	2018年9月末	2019年9月末	2020年9月末	前年同期末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	18	19	23	4
危険債権	38	49	79	30
要管理債権	0	0	0	△ 0
正常債権	17,585	20,582	22,398	1,815
合計	17,642	20,652	22,501	1,849

※上記は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」に基づいています。

会社概要 (2020年9月30日現在)



- 商号 オリックス銀行株式会社
(ORIX Bank Corporation)
- 本店所在地 東京都港区芝3-22-8 オリックス乾ビル
- 代表取締役社長 錦織 雄一
- 設立 1993年8月23日
- 資本金 450億円
- 株主 オリックス株式会社(100%)
- 従業員数 707名
- 長期格付 「AA-」(R&I)
- 拠点 東京・大阪・福岡・名古屋・立川・沖縄
ORIX BANK GINZA PLAZA